

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2011年11月 検針分)

2011年6月～2011年8月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2011年11月 検針分の単位料金は2011年10月 検針分に比べて、1m³(45MJ)当り2.4097円(消費税込)、標準家庭(26m³)では月額63円の調整を行うこととなりました。

※当社は平成23年年10月1日を実施日としてガスの標準熱量の変更とガス料金の改定を主な内容とする供給約款および選択約款の変更を九州経済産業局長へ届出いたしました。

下表の2011年11月の単価はこの料金改定に伴って新たに設定された基準平均原料価格に基づく調整を行っております。(2011年10月分単価は料金改定単価)

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金 (消費税込)

	単位	(A) 2011年10月	(B) 2011年11月	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	228.3635	230.7732	2.4097
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	171.9809	174.3906	2.4097

●平均原料価格

	単位	2011年5月 ～ 2011年7月	2011年6月 ～ 2011年8月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	61,740	64,750	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	75,650	72,360	
平均原料価格	円/トン	62,680	65,390	62,680

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9533 + LPG平均価格 × 0.0506 (10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が100,290円以上となった場合は100,290円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)
= 65,390 - 62,680 = 2,700 円/トン
(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.085 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率)

	単位	2011年10月 検針分 (A) 基準単位料金	2011年11月 検針分 (B) 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	228.3635	230.7732	2.4097
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	171.9809	174.3906	2.4097

(小数点第5位以下の端数切捨て)

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2011年10月	(B) 2011年11月	影響額 (B)-(A)
26	6,543	6,606	63

計算式・・・基本料金(税込) + 調整単位料金(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切り捨て)